



	作品	講評
1 黒部川（低学年） 金賞	 <p data-bbox="240 499 596 582">「けしきがすごく きれいな黒部湖」</p> <p data-bbox="288 607 555 651">なめりかわしりつせいぶ 滑川市立西部小 2年</p> <p data-bbox="284 692 560 745">いしやま あすみ 石山 明澄美 さん</p>	<p data-bbox="644 230 1437 667">エメラルドグリーンの湖面を疾走する遊覧船が描かれています。背景には雪の残る雄大な山々が描かれており、さわやかな新緑の季節のようです。船後部の甲板にたたずむ作者であろう子どもの表情は、口角が上がり、目を輝かせています。一方、隣にいる保護者と思しき大人は、口を大きく開けて驚いたような顔をしており、髪とスカートが風にたなびいています。他にも遊覧船の窓には乗客が描かれており、自然を楽しむ人物描写の工夫が目を見張ります。また、湖面の波と、船から巻き上がるしぶきなど、水の描き分けにも挑戦している意欲作と言えるでしょう。</p>
2 黒部川（高学年） 金賞	 <p data-bbox="309 1352 536 1391">「川に映る峡谷」</p> <p data-bbox="288 1415 555 1460">とやましりつちゅうおう 富山市立中央小 6年</p> <p data-bbox="284 1500 560 1554">よご ゆきの 余湖 祐希乃 さん</p>	<p data-bbox="644 817 1437 1120">紅葉の山間に架かる橋梁に電車の通る様子が描かれており、画面中央部で景色が線対象に反射しています。抽象絵画やだまし絵の様にも見え、一見すると直ぐに風景であるとは気づけないかもしれません。水面に映る風景像は、実際に目で見る色調より、ほんの少し薄いトーンになっており、描き分けの工夫が見られます。反射の面白さを扱った、絵のねらいがよく伝わる作品です。</p>

<p>3 常願寺川 (低学年 金賞)</p>	 <p>「白岩川の流し火」</p> <p>たかおかしりつしもぜき 高岡市立下関小3年</p> <p>いしまる たける 石丸 尊琉 さん</p>	<p>薄い紺色の夜の川面に、やさしく灯るオレンジ色の光が幻想的な風景を描き出しています。これは、3年ぶりに開催された水橋橋まつりで行われた、子どもたちによる棧橋からのながし火の様子を描いたものです。夜空と橋、川面と灯というシンプルな画面構成ながら、流し火の静かに流れる情景が、落ち着いた夏の風情を感じさせます。</p>
	<p>作品</p>	<p>講評</p>
<p>4 常願寺川 (高学年 金賞)</p>	 <p>「夕日に染まる白岩川」</p> <p>かみいちちようりつあいのき 上市町立相ノ木小5年</p> <p>せりた たけまさ 芹田 武政 さん</p>	<p>夕日が川の水面に映り、力強く輝いています。空に浮かぶ雲は、青い影の落ちた立体的なものと、高曇りの薄い白いものと描き分けられており、夕空のドラマチックさが細部を通して伝わってきます。作者は、妹さんの保育所近くの川を描いたそうで、普段からよく目にしている川なのかもしれません。いつも見ている風景の時間や季節の変化を敏感に感じ取り、この情景を描こうとしたのかもしれません。</p>
<p>5 神通川 (低学年 金賞)</p>	 <p>「平和の花火」</p> <p>とやまだいがくきょういくがくぶふぞく 富山大学教育学部附属小3年</p> <p>まきの はるひと 牧野 悠仁 さん</p>	<p>3年ぶりに神通川の夜空に打ちあがる大輪の花火をスクラッチ（ひっかき）技法で表現しています。ひっかく方向を巧みに変えながら、夜空に咲く色とりどりの花火と水面に映る花火を見事に描き分けています。また、向こう岸に見える街の灯りも丹念に描かれ、川幅の広さが感じられます。見物している人々を一人一人丁寧に描くことで、それぞれの花火に寄せる想いが伝わってくるようです。次々と打ちあがる花火に喜ぶ顔、感動して泣きそうな顔、歓声を上げている顔、マスクを外した人々の表情を描きたかった作者の気持ちと「平和の花火」という題名とが重なって深く心にしみる作品です。</p>

6 神通川 (高学年 金賞)	 <p>「鮎釣り」</p> <p>なかおか しりつ のうまち 高岡市立能町小6年</p> <p>にしだ こたろう 西田琥太郎 さん</p>	<p>鮎釣りの竿が、画面からはみ出すように描かれ、その長さがひととき強調されています。鮎竿を持つ釣人は、魚を狙うために姿勢を低く構え、ポイントに集中している様子が、その背中からひしひしと伝わってきます。鮎釣りは、春から夏にかけて、神通川でよく見られる風景で、一般的には、橋や土手の上から目にする事が多いのではないのでしょうか。作者は、河原まで降りて行って間近にその様子を目の当たりにし、「釣人の背中がかっこよかった」との感想を述べています。</p>
-------------------------	--	--

	作品	講評
7 庄川 (低学年 金賞)	 <p>「庄川の流れ」</p> <p>いみず しりつ だいもん 射水市立大門小2年</p> <p>みなみ ゆうと 南 結斗 さん</p>	<p>おおらかな筆のタッチでにじみやぼかしを効かせ、透明感のある清らかな流れを表現した印象的な作品です。画面を斜めに横切る赤い橋は頑丈な橋脚を備え、流れに負けない存在感があつてとても目を引きます。また、手前の緑は絵の具を筆先につけて点描で表し、草のふさふさ生えている感じを出しています。それぞれの描き方を工夫しながら画面一杯に描いているところが大変良いです。</p>
8 庄川 (高学年 金賞)	 <p>「秋の利賀大橋」</p> <p>とやまし りつ みずはし せいぶ 富山市立水橋西部小6年</p> <p>おかもと ももか 岡本 桃花 さん</p>	<p>秋の庄川上流のダム湖とそこに架かる利賀大橋を写実的に描いた作品です。手前から奥へのカーブやこの橋の特徴である美しいアーチ構造をよく観察して描いています。橋に見とれているといつの間にか目線は背後の山々へ導かれています。紅葉した樹々は暖色、杉などの針葉樹は深緑色をベースに使い繊細なタッチで塗り重ねることで立体感を出し、山全体にふっくらと柔らかな質感を与えています。ダム湖に目をやると庄川峡の遊覧船が白波を立てて航行しています。きっと乗船客がきらめく秋を満喫しているに違いありません。あちこちに作者の工夫がちりばめられ、静かな秋の訪れを感じる素敵な作品です。</p>

	作品	講評
9 小矢部川 (低学年 金賞)	 <p data-bbox="268 723 592 763">「いわなのつかみどり」</p> <p data-bbox="288 786 571 831">おやべしりついでるぎ 小矢部市立石動小3年</p> <p data-bbox="288 869 571 925">なかがわ ひかり 中川 日花里 さん</p>	<p data-bbox="651 230 1437 577">描かれた人物は作者自身なのでしょうか。大きな目をぱちくりさせ、大声を上げているような表情がとても印象的です。力強く描かれた手はいわなを絶対に放すまいとしているようです。一方、いわなは逃れようと胴体をくねらせていますが、どことなしか観念した感じにもみえます。画面全体がはっきりとした色使いで描かれていることから、この出来事が作者の心に鮮明に焼き付いていたことが伝わります。はじける元気と迫力があってとても素晴らしいです。</p>
10 小矢部川 (高学年 金賞)	 <p data-bbox="252 1261 608 1301">「田屋橋からみる山田川」</p> <p data-bbox="300 1323 560 1368">なんとしりつふくの 南砺市立福野小5年</p> <p data-bbox="304 1406 555 1462">もとむら かなせ 本村 奏惺 さん</p>	<p data-bbox="651 992 1437 1384">山田川に架かる田屋橋から城端、井口方面を望む景色でしょうか。山の稜線、取水堰から勢いよく流れ落ちる水、堤防の四角い模様など墨を使って迷いのなく自由に描いているところが魅力的です。全体を下描きもせず一気に仕上げた感じがして、作者にはこの光景がとても身近なことが伝わってきます。緑生い茂る山々の広がり、流れを変えながら下る川の様子がのびのびと描かれています。このふるさとの光景と対話し素直な感覚で筆を走らせて描く作者の姿も想像でき、清々しい気持ちになります。</p>

	作品	講評
11 審査員特別賞	 <p data-bbox="316 501 512 533">「たのしい川」</p> <p data-bbox="264 562 520 607">とやましりつよかた 富山市立四方小2年</p> <p data-bbox="293 647 568 696">やはた なおこ 八幡 奈央子 さん</p>	<p data-bbox="651 237 1437 584">雲一つない青空の下、川遊びをされていて生き物を発見した瞬間のようです。画面に大きな面積で描かれた川は、常願寺川の特徴でもある、ごつごつした岩がたくさん転がっており、背後には雪の残る山々の景色や橋、ビルなどの建造物も細やかに描かれています。カゲロウの幼虫を見つけた瞬間を自分の手と供に描いており、自分の手で虫を見つけた喜びが伝わってきます。また、手を描くことで、虫の大きさも見る人にとって想像しやすいものとなっています。</p>
12 審査員特別賞	 <p data-bbox="300 1084 555 1115">「庄川の冬の景色」</p> <p data-bbox="288 1189 576 1234">とやましりつおおくぼ 富山市立大久保小5年</p> <p data-bbox="309 1274 555 1323">わだ あつき 和田 暖生 さん</p>	<p data-bbox="651 826 1437 1375">庄川峡は四季折々豊かな表情を見せてくれます。作者にとっては冬の風景は格別なのかもしれません。この作品だけが冬を描いていました。描き方に素朴な優しさと工夫が見られ心が和みます。山々の下地に使った青色が辺りの冷たい空気を演出し、それを覆う樹々は白を基調に軽快なタッチで描かれ、雪深い山肌に独特なリズムを生んでいます。また、赤い2本の橋を描き込むことで彩が加わり画面を引き締めてくれています。ダム湖の表現も大変面白いです。深い青色で平坦に描いた水面を庄川遊覧船が波を立てて進む姿からは、静かな谷間にエンジン音だけが響き渡っているようです。冬の良さを伝える温かみのある作品で大変良いです。</p>